

こどもが  
まなびを  
すすめる  
がいこくご



— 低学年 から 中学年 へ —

学びに向かう力を育む外国語教育の一方策  
— 外国語を用いて伝え合う楽しさを実感させながら —

京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発支援センター

# 課

## 題設定の工夫

児童にとって「やってみたい」「伝えたい」「知りたい」と思えるような単元にするためには、まず目の前にいる児童について十分理解していることが重要です。そこから単元で扱う題材について考えていきましょう。

学習したことが  
生かせる題材

自分や成長が  
表現できる題材

学ばせたい英語表現が  
使われている  
絵本や題材

日常生活経験を  
生かせる題材

### 児童理解

どんなことに興味・関心があるのだろう

こんな力を身に付けてほしいな

こんなことを学習してきたな

楽しめる  
題材

興味のある  
絵本

指導者は、単元導入場面で、単元終末の言語活動を示しつつ、児童が単元を通しためあてを考えたり活動の見通しを立てたりする場面を大切にします。そうすることによって、児童はそれぞれの活動の意義を感じながら、単元を通して主体的に学びを進めていくことができます。

### 単元のめあて

『目的意識』『相手意識』のある言葉を児童から引き出しながら児童自身が考えることを大切にする

### 活動の見通し

自分たちで考えた単元のめあてを達成するために必要な学習や力について児童自身が考えることを大切にする

### CHECK!!

- 他教科の学びや児童の興味・関心を踏まえながら必然性のあるゴール設定を行っている
- 児童の実態に合わせた題材の工夫を行っている
- 児童が「知りたい」「やってみたい」と思えるような単元との出会いを大切にしている
- 児童自身が単元のめあてを考え、活動の見通しを立てることを大切にしている



# 白己選択・自己決定

学習活動のあらゆる場面において、児童自身の意思決定が反映される場面を設定することによって、「楽しい」といった実感が得られるようにするとともに、児童の主体的な学びを生み出します。

## 伝えたい内容や表現方法を自己選択・自己決定する



単元で扱う全ての言語材料を指導者から提示するのではなく、既習事項に関して児童が振り返りながら学びのつながりを実感できるようにします。そのためにも、指導者は児童の既習事項について把握しておくことが大切です。

## 学習方法を自己選択・自己決定する

単元の流れ

単元導入	単元のめあての決定や活動の見通し
	児童による 自己選択・自己決定を伴う学習活動
単元終末	単元終末の言語活動

例えば...  
1時間の学習のうち  
前半は指導者主導で進め、後半は児童に活動を委ねる時間を設定します など

指導者主導による学習活動だけでなく、児童が本時や単元のめあての達成に向けて学習方法を考え、様々な学習形態で学びを進められるように、児童の意思決定が反映される学習活動を計画していきましょう。

## 児童の学びを支える環境づくりとして様々な教材・教具を用意しよう



GIGA端末上で活用できる教材については、こちらで紹介しています。



### CHECK!!

- 児童に学習活動を委ねる時間を設定している
- 伝えたい内容や伝え方について児童が考え、決定することを大切にしている
- 児童が自分の学びに合わせて学習方法を考え、決定することを大切にしている
- 様々な教材・教具を提供し、児童にとっての豊かな学習環境づくりを行っている



# 価値ある姿の共有

「学びに向かう力」について、3つの視点（※裏面参照）から具体的な姿をイメージし、その姿が発揮される活動場面を想定しておくことで、学習活動中に児童が発揮する学びに向かう力を見取り価値付けていくことができますようにします。

相手の伝えようとしていることを理解しよう

相手にわかりやすく伝えよう

声に出して言ってみよう

よりよくつながろう

英語表現を理解しよう

英語を使って表現しよう

学びに向かう力を視点にして自己評価できるような振り返りにすることで、自身の学びに向かう力を実感しながら学習に取り組むことができます。

UNIT 3 『絵本をしようかいしよう』

NAME \_\_\_\_\_

UNIT'S GOAL

じふんと	むきあう	さいごまであきらめずにがんばることができた
じぶんを	たかめる	新しいことチャレンジすることができた
あいてと	つながる	あいつの気持ちをかんがえながら、思いやりつたえたりすることができた

DATE	◎・○・△	ふりかえり
1	◎	TODAY'S GOAL どうぶつの言い方を調べよう。 どうぶつの言い方を知りたいから、調べたことについて考えたいです。
2	○	TODAY'S GOAL どうぶつの言い方を調べたり、言ったりしよう。 どうぶつの言い方を調べたり、言ったりできました。
3	△	TODAY'S GOAL 色やどうぶつの言い方を調べたり、言ったりしよう。 何色のどうぶつも調べたのでよかったと思います。

振り返る視点

自己評価 (◎○△)

先生の話している英語を聞いているうちにわかってきたからもっと知りたい

音声カードの動画を見ていると英語の言い方がわかってきたからもっと知りたい

いろいろな英語表現を楽しむことができた

はじめはうまくできなかったけど最後までがんばってうまくできた

相手にわかりやすく伝えるように工夫ができた

単元を通した主体的な学びへ

## CHECK!!

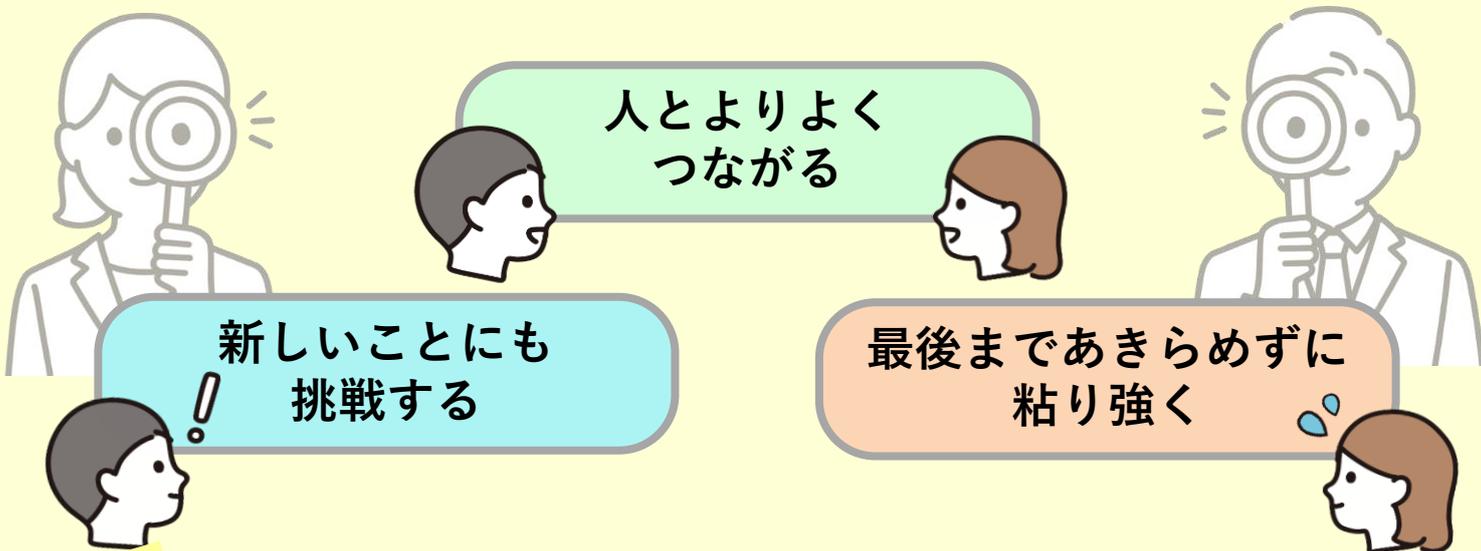
- 価値付ける姿を具体的にイメージできている
- 児童の学びに向かう力を見取り、価値付ける場面が整理できている
- 児童の姿を価値付けるための言葉かけについて考えている
- 児童自身が自分の学びに向かう姿について振り返ることを大切にしている



ここから始めよう

# 学びに向かう力を見取る目をもって

児童の学びに向かう力を育むためには、まず、その力を見取ることのできる目を指導者がもっておくことが大切です。単元づくりを行う際、「学びに向かう力」について、以下に示す3つの視点から具体的な姿で言語化するとともに、その姿が発揮されるであろう活動場面を整理しておきましょう。そして、児童の学びに向かう力を見逃さずに価値付けていきましょう。



Step 1

「学びに向かう力」を発揮している児童の具体的な姿をイメージしよう！

## 具体的な姿

(例)

- ・新しい言語表現に出会ったときに進んで声に出して表現することができる
- ・大切だと感じたことは進んで取り入れようとする事ができる
- ・ALTなどの英語話者に対して自分から積極的に英語でやり取りを始めることができる

(例)

- ・自分の思いや考えを伝えるときに相手によりわかりやすく伝えようとする事ができる
- ・相手が伝えようとしていることを考えながら聞くことができる
- ・相手とのやり取りを広げたり深めたりしようとする事ができる

(例)

- ・新しい表現に出会ったときにわからないとあきらめるのではなく、何度も繰り返し聞きながら理解しようとする事ができる
- ・自分の姿を見つめ直したり、友だちの良いところを見つけたりしながら、よりよい姿を目指して取り組むことができる

Step 2

「学びに向かう力」が発揮される活動場面について考えよう！

## 価値付ける場面

(例)

- ・新出表現との出会い
- ・ALTとのやり取り
- ・中間交流
- ・共有フォルダや個人フォルダの活用

(例)

- ・単元を通した言語活動
- ・ペア・グループ活動

(例)

- ・クラスルームイングリッシュ
- ・ALTのスピーチ
- ・絵本の読み聞かせ
- ・共有フォルダや個人フォルダの活用
- ・動画撮影機能の活用

※ 例で示しているものだけでなく、単元の内容や目の前の児童の実態を十分に考慮しながらその都度見直していきましょう。

※ 指導者自身の意識化を図るものとして有効に活用しましょう。



# 「しょうかいしたり あいてのくふうを聞いたりすると どんどんわかりやすくなってきました」



低学年「英語活動」を大切に取り組むことで、中学年「外国語活動」で見せる児童の姿が変わってきました。外国語教育の入口を「低学年」にすることのよさやその意義について、いくつかの研究実践例をもとに紹介しています。以下に示すQRコードを読み取っていただき、研究課のホームページをご覧ください。

発行 令和4年3月

発行元 京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発支援センター  
〒600-8023

京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075-371-2705

FAX 075-353-4851

詳しくはこちらを検索！

